

ENGAWA



CONTENTS

- 特集『あなたの活躍が地域の絆を深める』
- Pick Up!! 【視察報告】オーストラリアでこれからのまちづくりを考える

あなたの小さな取り組みが 地域の絆を深めます

皆さんは、近所に住む人や子ども達と、どのくらい交流がありますか？

内閣府の調査によると、近年、『近所づきあいがある人』の数が、年々減少しているというデータが出ています。今後、高齢者の割合がますます増えていく時代、地域で助け合い、誰もが暮らしやすい地域にしていくためにも、コミュニティの絆を強めることが重要な課題となっています。

今回は、保護者や地域住民が先生となって、地域の子ども達や地域のために開催している『富塚輝け☆未来土曜講座』の取り組みを取り組みを取材しました。皆さんも地域でできる活動を考えてみませんか？

特集

あなたの活躍が地域の絆を深める



9月に行われた「土曜講座」の1コマ。地域に住む堀内さんは、元小学校教師。植物や昆虫に詳しく、『新川、椎ノ木谷 探検隊』という講座を開講。この講座には11名の生徒が集まり、虫を捕まえながら、今まで知らなかった虫の生態などを学んだ。

地域の大人が先生！

コミュニティ・スクールとは、「地域とともにある学校づくり」を進める取り組みです。学校や保護者、地域の人々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子ども達の豊かな成長を支えています。浜松市では、既に8校がモデル地区に指定されており、今後は徐々に全地区にコミュニティ・スクールが導入されることが決まっています。

富塚中学校区では、平成28年度から『コミュニティ・スクールモデル地区』に指定されました。指定から2年目となる平成29年度は、子供向けの生涯学習講座『富塚輝け☆未来土曜講座』を月1回(第3土曜日)開催してきました。

講座は毎回、7~10講座が用意され、全体で約80名の子ども達が参加します。自分の興味や関心に合わせて、好きな講座を受講できる仕組みです。

子ども達は、学校生活では出来ない体験や、自然観察会などを通して、「楽しかった、来てよかったです」「虫がこんなに近くで見れるなんて知らなかった」と口々に感想をもらします。

このように土曜講座は、地域の保護者や地域住民が講師となって、地域の子ども達に感動や新しい発見を与える機会となっています。

地域には人材がたくさん！

富塚小学校のコーディネーターを担当している小楠佳子さん。コーディネーターとして、学校や保護者のニーズを聞いたり、地域人材の発掘や、児童の参加の促進をしたりしています。また、自身でも、お料理教室などを担当し、コミュニティ・スクールを進めています。

コミュニティ・スクールについて小楠さんは、「地域には、経験豊かな方がたくさんいらっしゃり、講師を依頼しても、快く引き受けてくださいます。子ども達は、これまで地域の皆さんのが学んできたことや、楽しんでこられたことを、専門的に丁寧に教えてもらえ、講座を通して自分の好きなものに出会えてもらえたなら嬉しいです。」と、子ども達に思いを寄せていました。



親子向け「フルーツアレンジ」の様子。講師は小楠佳子さん。

一方で、「まだまだ土曜講座が子どもにも、親御さんにも浸透していない」と言います。「その中で嬉しかったのは、学校の懇談会で、講座に参加した親御さんが『すごく良いから皆さん参加したらどうですか』と言っていただけたことです。」と話します。

開始して2年目の活動は、口コミで少しずつ広がりを見せ、今後ますます浸透していくことでしょう。

「正しい走り方」を教えてあげたい



子ども達に「走り方の基本」を教えてているのは、山本義忠さん。山本さんは、小学生を対象に、12年前から地域で運動クラブを立ち上げ、地域の子どもたちと関わってきました。

「クラブを立ち上げた当初は、生徒数が5名しかいませんでした。その後、口コミで広がっていき、今では40名が在籍しています。」と当時のことを振り返り、「これからは、活動を続けていくためにも、指導者的人材育成に力を入れていきたいです。そして、同じようなクラブを市内に作っていきたいです。」と今後の抱負を語りました。



① チェロコンサートの様子

この日は、富塚出身のチェロ奏者を招き、地域住民を対象としたコンサートを開催。年に2回程度、このような「芸術鑑賞会」や「地域講演会」を実施し、地域全体の連帯意識も醸成しています。



②絵本講座

③大学生による学びの講座



③大学生による学びの講座

今後、コミュニティ・スクールは市内の全地域で導入され、地域の皆さんのが学校に入る機会が増えていくことでしょう。

情報技術の発達やSNSの普及により、人間関係の希薄化が進んでいます。また、人口流出による、高齢化に苦しむ地域も多くあります。

住民が力を出しあい、コミュニティを作っていくことが、これから地域を救う鍵になるかもしれません。

あなたも地域でできることを考えてみませんか？



コラム

「社会参加をする人は長生きする……！？」

ポイントは… 「適度な運動」 「バランスの良い食生活」 「社会参加に生き甲斐」

社会貢献と寿命の関係



(参照) 静岡県総合健康センター(2012) 東海公衆衛生学会
※性、年齢、肥満度、喫煙状況で調整したハザード比

3つを意識していない人の死亡状況と比較すると、「運動」「食生活」を行っていると、死亡率は約3分の1に減少。

更に「運動」「食生活」に加え「社会参加」の3つを行っていると、死亡率はなんと… 約半数に減少するという結果が出ています！

死亡率が低いということは、長生きできるということを示していますね。



生まれ育ったまちや、今住んでいるまちで、自分の得意技や知識を活かした「地域貢献」、「ボランティア活動」に、積極的に参加してみてはいかがですか？

『こんな社会貢献をしてみたい！』という思いがある方、お気軽に浜松市市民協働センターをご利用ください♪

»» Pick Up!!



【視察報告】

オーストリアで これからのまちづくりを考える

浜松市市民協働センター 加藤真知子

2017年10月、私は社会活動に携わる全国の仲間とともに、約10日間のオーストリア視察に行ってきました。この視察は、内閣府が取り組む人材育成事業「地域コアリーダープログラム」の一環で実施されました。

日本全国で人口減少が進む中、まちの担い手をどのように育てていけば良いのか。視察では、主に青少年活動の観点からそのヒントを探りました。

オーストリアで見た若者の力

今回の視察で驚きだったことは、若者に対する社会的信用の高さです。オーストリアでは、子ども・若者の声を、行政や国際機関に届ける役割を担う組織が存在します。30歳未満の青少年団体の代表者で構成されたこの組織は、青少年関連の法案が提出される際、政府に助言を与える役割が法的に定められており、2007年の16歳選挙権の実現に大きく貢献した実績もあります。

若者も、自身の存在を”社会の担い手であり、社会を変えていける存在”と認識していることが非常

に印象的でした。

視察のタイミングで行われていたオーストリア総選挙では、投票率が80%を超え、結果的に31歳の「世界最年少の首相」が誕生。オーストリアにおける民主主義と若者の力の大きさを目の当たりにしました。

「あなたと共に」の関係

こうした力が育まれる背景には、視察先で一貫して聞かれた、若者に対する「RESPECT(尊敬)& FUN(楽しさ)」の精神、そして、大人と若者の「対話」の積み重ねがあると学びました。どのような状況下の青少年に対しても、彼らの声に耳を傾け、認め、信頼し、共に未来を築こうと行動する大人の姿からは、「青少年のために」という一方通行の関係ではなく、「青少年と共に」という双方向の関係が見られました。このような関係性は、青少年に限らず、あらゆる分野でも共通して大切な点だと感じます。

一人ひとりの対話の積み重ねが、やがて街の文化となり、社会を支える力になっていく過程をオーストリアで体感し、浜松市においても、対話の場を創り出していきたい。そう強く感じる視察となりました。

